

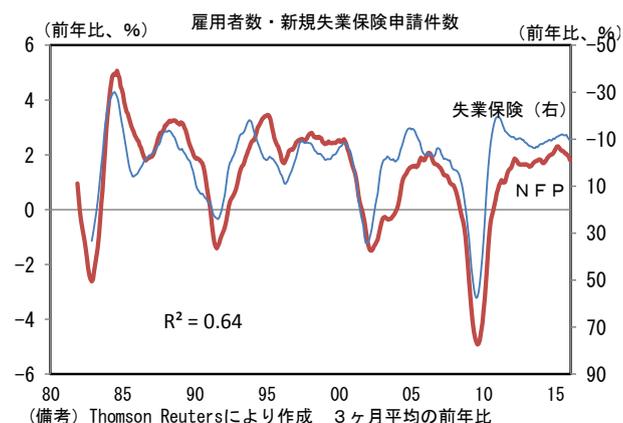
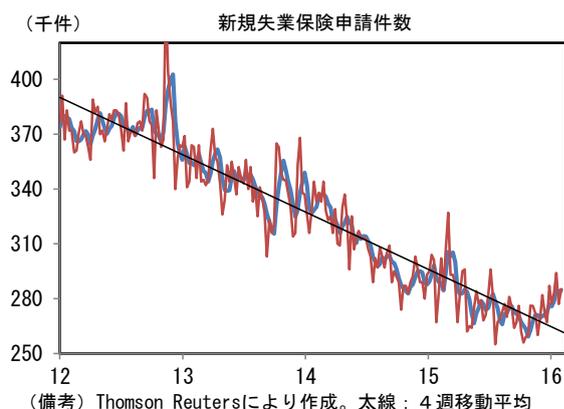
非常に厳しい時間帯 好転の兆しはほとんど注目されない

2016年2月5日(金)

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 藤代 宏一
TEL 03-5221-4523

【海外経済指標他】～失業保険申請件数：不気味～

- ・新規失業保険申請件数は28.5万件と市場予想（27.8万件）を上回る増加となった。4週移動平均は28.5万件と減少傾向が完全に一服。10-12月期に記録した著しい改善の反動なのか、或いは2009年以降続いてきた減少傾向が終焉に近づいているのか、その判断が微妙な時期に差し掛かってきた。30万件割れの状態が維持されていれば、雇用統計NFPは2%弱、すなわち毎月20万人程度の増加が確保できると判断されるが、失業保険申請件数もNFPも変化率は鈍化傾向にある。労働市場の量的回復はそのモメンタムが既にピークアウトした可能性がある。
- ・英BOEのMPCでは政策金利（+0.5%）の据え置きと資産購入枠（3750億ポンド）の維持が全会一致で決定された。これまで反対票を投じてきたマカファティー委員はインフレ率の鈍さに配慮して利上げの主張を撤回。もっとも、全体では失業率低下・インフレ率加速という見通しが示される下、今後の利上げ姿勢そのものは維持された。年内利上げの可能性は大幅に後退しているものの、年末頃には利上げ観測が復活しているのではないかと見られる。

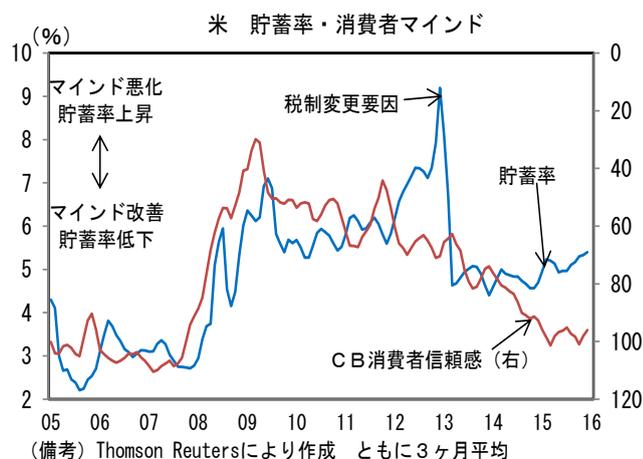


【海外株式市場・外国為替相場・債券市場】

- ・前日の米国株は続伸。3月の利上げ観測が急速に後退する下、原油価格安定が追い風となり株式市場に資金流入。他方、欧州株は強弱まちまち。ドラギ総裁のハト派発言を追い風に一部の国で買い戻し優勢。WTI原油は31.72ドル（▲0.56ドル）で引けた。
- ・前日のG10通貨はGBPが最弱でそれにUSDが続いた。利上げ観測後退を背景に米金利が低下基調を辿るなか、低金利調達通貨（CHF、JPY、DKK、EUR）が堅調、資源国通貨（NZD、NOK）も資源価格の安定を追い風に堅調。他方、GBPはMPC前後に上下した後、横ばいで推移。USD/JPYは117を割れ、EUR/USDは1.12を突破。
- ・前日の米10年金利は1.840%（▲4.7bp）で引け。目立った材料がないなか失業保険申請件数の増加を受けて金利低下。欧州債市場は総じて軟調。独10年金利が0.303%（+2.8bp）で引けたほか、イタリア（1.534%、+9.6bp）、スペイン（1.645%、+9.5bp）は大幅に金利上昇。対独スプレッドはワイドニング。

【国内株式市場・経済指標・注目点】

- ・日本株はUSD/JPY下落が重石となり、米株高に追従できず。日経平均は17000を割れた。
- ・ECB、日銀がタイムリーに緩和策を発表したことで、事態は好転したかのように思えたのも束の間、グローバルリスクオフの流れは食い止められていない。中国経済減速懸念、原油安が不安の根源となっているのは既知の事実だが、ここへ来て投資家の不安を増幅しているのは米国経済の減速が深刻になってきたことだ。過去2ヶ月は雇用統計NFPが驚くほど強かったことで不安が閉じ込められていたものの、その強さが持続性に欠けるということは市場参加者の共通認識となっている。実際、1月のNFPは18.5万人増がコンセンサスで12月の29.2万人から減速する見込みだ。
- ・投資家は、これまで米国のエネルギー・製造業セクターの苦境が好調なサービス部門に水を差すのか、或いはその逆でサービス業の好調がエネルギー・製造業セクターに波及するのか注目してきた。期待外れなことに、少なくとも今のところは前者が勝っている。実際、ISM指数は製造業が4ヶ月連続で50を割れるなか、これまで持ち堪えてきた非製造業も3ヶ月連続で低下しており、市場参加者の懸念が現実のものになっている。一方、米経済の回復を期待させるデータもある。直近では、筆者が最も重視する指標の一つである自動車販売台数が1月も順調な滑り出しをみせたほか、ISM製造業の新規受注在庫バランスは在庫調整が進捗しつつあることを示唆した。加えて、やや長めのタームではエネルギー支出削減によってセーブされた貯蓄が消費に回ることが期待される。消費者信頼感指数と比較して不可解なほど高水準にある貯蓄率は、先行きの貯蓄率低下（消費性向上昇）を伴った消費加速を期待させる。グローバルリスクオフの沈静化は米経済の好転が条件となろう。



<主要株価指数>

	終値	前日比
日経平均※	16826.02	-218.97
N Y ダウ	16,416.58	79.92
D A X (独)	9,393.36	-41.46
FTSE100 (英)	5,898.76	61.62
CAC40(仏)	4,228.53	1.57

<外国為替>※

USD/JPY	116.80	0.02
EUR/USD	1.1212	0.00

<長期金利>※

日本	0.043 %	-0.014 %
米国	1.840 %	-0.047 %
英国	1.566 %	0.034 %
ドイツ	0.303 %	0.028 %
フランス	0.635 %	0.026 %
イタリア	1.534 %	0.096 %
スペイン	1.645 %	0.095 %

<商品>

N Y 原油	31.72 ^{ドル}	-0.56 ^{ドル}
N Y 金	1157.60 ^{ドル}	16.30 ^{ドル}

※は右上記載時刻における直近値。図中の点線は前日終値。

(出所) Bloomberg

